

表紙の写真

XR技術の普及

ラムサス工法協会は人材の確保と育成に向けた取り組みとしてXR技術の利活用を目指しています。

AR技術は、現場とタブレット内の空間を重ね合わせ作業ヤードの配置計画や作業のシミュレーションに使用します。

VR技術は、仮想空間で直感的作業手順などのトレーニングと新入社員教育や施工事例報告にも活用しています。



ラムサス工法協会

目次

3	●写真速報 一般社団法人 日本非開削技術協会 第15回通常総会を開催／第30回非開削技術講演会(2023年)を開催／下水道展'23 札幌	
5	●特集／小口径管路の非開削建設技術	
6	●特集のねらい	オリジナル設計㈱(機関誌編集委員) 浅井 岳春
10	・ユニコーンDH-ES工法による小口径管推進工法の活用事例	ユニコーンES工法研究会事務局 小島 功
17	・さらなる適用領域拡大に挑むエースモールドL工法	アイレック技建㈱非開削推進事業本部副本部長 森 治郎 アイレック技建㈱非開削推進事業本部第一技術部副部长 坂元幸一郎
24	・難条件の長距離曲線推進に耐えるベル工法	ベル・マイクロ工法協会事務局 苗田 徳照
30	・ニーズに応え続けるラムサス-S工法(呼び径200)	サン・シールド㈱代表取締役 米森 清祥
34	・二工程式の特長を活かしたスピーダー工法	スピーダー協会事務局次長 藤野 真孝
43	・複数の曲線施工で力を発揮するジャット工法	ジャット協会広報委員 濱田 十郎
47	・帯水砂層に対応したスピーダーパス工法	地建興業㈱工務課課長 大石 真樹
50	●談話室 私とフルート	アイレック技建㈱非開削推進事業本部営業部(西)課長代理 斉藤 公祥
52	●海外イベント報告 CTSIT(台湾非開削技術協会)主催 国際非開削技術フォーラムの参加報告	(一社)日本非開削技術協会国際部長 平野 美礼
57	●国内イベント報告 ・メンテナンス・レジリエンスTOKYO2023参加報告	機関誌編集委員 鈴木 敬一
60	・下水道展'23札幌 取材メモから	機関誌編集委員/事務局
70	●知って得するシリーズ バスのあれこれ 第8編 積丹半島弾丸バス巡り	川崎地質㈱大谷石採取場跡地観測所 大村 猛
77	●事務局報告	
78	・地下探査技術講習会を開催しました ・第30回 非開削技術講演会を開催しました	(一社)日本非開削技術協会事務局 金子 謙二
79	●UP DATE	
80	●Back Number	
82	●新入会員の紹介 (株)フソウ	
83	●委員会	
84	●編集後記	中川ヒューム管工業㈱(機関誌編集委員) 中川 喜夫

※特集および投稿記事は、著者の責任において執筆された記事であり、必ずしも日本非開削技術協会の見解ではありません。